



3月14日 東地申第47号

高さ調整弁および

高さ調整弁棒の

折損に関する申し入れ 提出!

2024年11月4日、東海道線川崎～品川間走行中の列車で、高さ調整弁棒が折損する事象が発生しました。

<高さ調整弁棒>

お客さまの多少に応じて、空気バネ内の空気圧を自動的に調整し、車体高さを一定に保つ働きをする棒



首都圏の在来線において高さ調整弁および高さ調整弁棒の折損等が相次いで発生しています。これに限らず、走行上の危機に関する不具合は増加傾向にあります。

2013年には中央線相模湖駅構内で、この事象に起因する脱線事故も発生しています。2020年度東地申第6号団体交渉で会社は「脱線のリスクはない」と回答していますが、安全・安定輸送を脅かすリスクであることに変わりはありません。

<申し入れ内容>

1. 一連の高さ調整弁および高さ調整弁棒の不具合事象について会社の見解を示すこと。
2. 2024年11月4日の東海道線 E231 系 S-08 編成の高さ調整弁棒折損・落失の事象についての原因と対策を明らかにすること。
3. 以下の高さ調整弁および高さ調整弁棒の不具合に対する原因と対策を明らかにすること。
 - ① 2023年11月6日 常磐緩行線 マト 11 編成 高さ調整弁棒が折損した事象
 - ② 2024年11月29日 山手線 (トウ 08 編成、トウ 23 編成) 高さ調整弁棒に亀裂が生じた事象
 - ③ 2025年1月16日 横須賀線 Ne018 編成 高さ調整弁軸が折損した事象
4. 走行中に同種不具合が発生した際に、運転士が早期に故障を認識できるよう E235 系と同様に空気ばね圧力異常検知を運転台モニターに表示できるように車両改修を行うこと。
5. 安全に資する事象が発生した際は遅滞なく社員に詳細を周知し、指導・教育を徹底すること。

安全上見逃すことのできない重大な事態! 繰り返させないために団体交渉に臨みます!